

ひけつ2 ネットと上手につきあおう

(4) ネットで悪口を言われたら…

●テーマの背景、解説

匿名でインターネット上に発言することができるため、人の悪口や誹謗中傷を書きこむ人がいます。悪口や誹謗中傷を書きこまれると、ネット上にずっと残るため、書きこまれた人は、ずっといやな思いをしてしまいます。書きこまれた人は、一人で悩まずに、しばらくの間ネットから離れるといいでしょう。

ネットから情報を発信するときは、相手の気持ちを考えて発言することを指導しましょう。

●行動目標、学習目標

行動目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ ネットで悪口を書かれたり、誹謗中傷されたりしたときは、一人で悩まずに信頼できる大人に相談することができる。 ・ ネットで悪口を書かれたり、誹謗中傷されたりしたときは、冷静になるまでネットから離れることができる。
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ ちょっとしたつづやきが、受け取る相手の心理状態によって、気持ちを逆なでたり、誤解されたりすることがあることを知る。

●指導案

所要時間	学習活動	ファシリテーションの観点からの指導上の注意点	ネットリテラシーの観点からの指導上の注意点
導入 ① 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループごとに自己紹介する。(名前、学年、好きなアニメなど) ・ 子どもが答えたアニメやキャラクターをネット検索する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者の関心を引き出す。 ・ 学習会の目的を共有して、意識をそろえる。 ・ グループに分かれる。 ・ 自己紹介用のワークシートを配布する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの興味のあることをネット検索し、インターネットへの関心を引きつける。
導入 ② 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・ インターネットやソーシャルメディアをどのように使っているか、参加者同士で意見交換する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 双方向のコミュニケーションを行い、参加者それぞれの気づきや経験を元にして話を広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者のインターネットについての知識レベルを合わせる。
展開 ① 10分	<p>【コンテンツを使った学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SNSを使ったことがあるかを確認する。 ・ SNSとは何かを学ぶ。 ・ 「ネットで悪口を言われたら…」のアニメコンテンツを見る。(アニメコンテンツを表示する。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ SNSを使ったことがあるかを確認し、当事者意識を持てるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ SNSについての子どもの理解度を確認し、身近に感じていることを引き出す。 ・ SNSについて簡単に説明する。
休憩 (10分)			
展開 ② 20分	<p>【ワーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設問に答えながら、自分だったらどのように行動するかを考える。 ・ 講師からの質問に答える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正解ではなく、自分の身のまわりのことを考えて、行動を考えさせる。ワークシートに記入する。 	
展開 ③ 25分	<p>【グループディスカッション】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ どんな選択肢を選んだか、その理由をグループで話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者の気づきを全体で共有することで、新しい発見を生み出す。 ・ 話合いの学びを深めるため 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ネット上で悪口を言われないようにするにはどうしたらいいかを考えさせる。

		に基本となるルールを共有する。	
展開④ 10分	【解説】 注意ポイントを学ぶ。	・解説ページを確認しながら、学んだことを共有する。	・注意ポイントを解説する。
10分	【まとめ・振り返り】 ・学んだことをワークシートに記入する。 ・気づきを発表する。	・山本家スマホのひけつを確認する。 ・振り返りをするすることで、感じたことや気づきを定着させる。	・学習したことを日常生活の中で生かすように促す。

●講師シナリオ案

テーマ	講師シナリオ案	発問のポイント
導入①	<ul style="list-style-type: none"> ・皆さん、こんにちは。私は、〇〇です（自己紹介する）。 ・次は皆さんに自己紹介してもらいます。 ・自己紹介用のワークシートに名前、学年、好きなアニメやキャラクター、好きなもの（色、食べ物など）を記入してください。 ・名札に学習会で読んでもらいたい名前を書いてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者それぞれの関心、意欲を引き出す。 ・お互いの関係性を作る。
導入②	<ul style="list-style-type: none"> ・皆さんは、インターネットを使っていますか。どのように使っていますか（メール、音楽のダウンロードなど）。 ・何を使ってインターネットにつながっていますか（携帯電話、スマートフォン、パソコン、ゲーム機など）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一方的な投げかけではなく、双方向コミュニケーションを行い、参加者それぞれの経験をもとに話を広げる。
展開①	<p>【コンテンツを使った学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・皆さんは、SNS に投稿したことはありますか。書き込みをしたことはありますか。 ・SNS への投稿や書き込みで困ったことはありますか。 ・これからアニメコンテンツを見ていただきますが、皆さんがインターネットを使っているとき体験しそうなエピソードを扱っています。 ・まずは、登場人物の紹介です。 ・主人公のミサキは中学1年生、ある男性アイドルグループのファンです。 ・ミサキがアイドルグループのコンサートチケットを手に入れることができ、つついいうれしい気持ちをファンの交流サイトに書きこんだところ、サイトが炎上してしまいました。 ・それでは早速アニメコンテンツを見てみましょう。（アニメコンテンツを見せる。） ・アニメコンテンツの最後に、選択肢が出てきます。自分だったらどんな行動をとるか、主人公になったつもりで考えてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フィルタリングをつけているかを確認する。 ・まずはイントロムービーを見せる。
展開②	<p>【個人ワーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いかがでしたか。コンテンツを見てどう思いましたか。感想を聞かせてください（子どもの感想を聞く）。 ・（子ども：自分の悪口を言われたらいやだ。）そうですね。いやな気持ちになりますよね。 ・ネットで悪口を言われないようにするにはどうしたらいいか、これから考えていきましょう。 ・皆さんはどれを選びましたか。①を選んだ人？ ②を選んだ人？ ③を選んだ人？ 手をあげてください。 ・それぞれの選択肢を選んだ理由も聞かせてください。 ・選択肢にない行動をとるといふ人はいますか。そして、その理由も聞かせてください。 ・ミサキさんはどうすればよかったのでしょうか。ワークシートに、自分がミサキだったらどんな行動をとるかを書いてください。その理由も書いてください（ワークシートを配る。約10分）。 ・（約8分経過したところで子どもに尋ねる）ワークシートに記入で 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの回答をまずは、受け入れる。 ・どの選択肢を選んだのかを挙手してもらい、尋ねる。 ・子どもがワークシートに記入しているかどうかを確認し、記入できない子どもに対し

	<p>きましたか。(子ども：まだー)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・では、もう少し時間をとりますね。(大多数の子どもが記入できていればOK)。 ・ワークシートに記入できましたか。ここで、休憩を入れます。 	<p>て、わからないことがあるかを尋ねる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・途中の段階で、ワークシートに記入できたかどうかを尋ねる。
展開③	<p>【グループディスカッション】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それでは、グループごとにワークシートに記入したことをもとに話し合ってみましょう。 ・グループごとに司会進行役、記録係、発表者を決めてください。 ・まずはワークシートに書いたことをグループの中で話してください(どの選択肢を選んだか、その理由、選択肢以外の行動、その理由)(約15分)。 <p>・グループごとに発表しましょう(発表するグループの順番を決める。発表時間約10分)。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発想力が豊かですぐに意見を言える子どももいれば、そうでない子どももいるので、考える時間を設ける。 ・基本的には一人ずつ意見を聞く。発言していない子どもには、意識的に質問を投げかける。 ・グループごとに合意形成の練習をする。 ・全体で意見を共有する。 ・発表に対して、ほめ言葉でコメントする。
展開④	<p>【解説】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次に、解説ページを見ながら振り返ってみましょう。 ・①を選んだ人は、ファンの気持ちを受け入れる発言をするのがいいということですが、具体的にどんな発言をしますか(子どもに問いかける)。 ・(発言を受けて)そうですね。「ファンは、コンサートに行きたいのに、チケットが当たらなかった」ことを悔しがっているので、「自分も今までずっと当たらなかったから、みんなの気持ちはよくわかる」といった内容のことを伝えたいでしょう。 ・ここで皆さんに、どのような言葉を言われたらうれしいかをあげてもらいます(子どもに問いかける)。 ・(子ども)「ありがとう」「よかったね」「がんばったね」…。そうですね。そうした相手が受け止めやすい言葉をネットでも使いましょう。 ・②の「自慢したり、情報を受け取った人にねたまれたりするような内容を書きこまない」ことはコミュニケーションする上で大事ですね。相手が、どんな気持ちになるかをよく考えて発信するようにしましょう。 ・③のように、ファンサイトの管理人にファン同士のトラブルが起こったときのルールがあるかどうか、確認するのもいいですね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・解説ページを開く。
まとめ・振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・山本家スマホのひけつを確認しましょう。 ・最後は皆さんに、今日学んだこと、感じたことを振りかえってもらいます。 ・「振り返りシート」に記入してください。 ・「振り返りシート」に記入できましたか。感想を聞かせてくれますか。 ・皆さん、とてもいい気づきがありましたね。これからもネットを使っているとき、困ったことがあるかもしれませんが、今日学んだことを思い出して、どのように行動したらいいかをよく考えてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スマホのひけつのページを開く。 ・「振り返りシート」を配る。